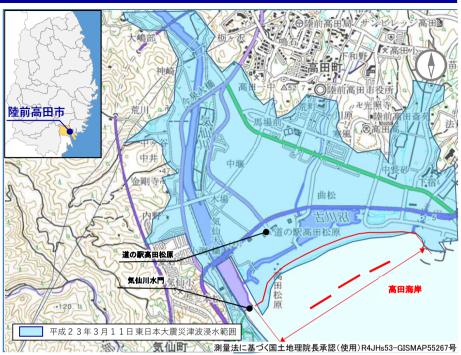
## 1. 被災前の状況



## 3. 被災状況



防潮堤 (浜田川付近から撮影)



防潮堤(気仙川付近から撮影)



防潮堤背後地



川原川水門・ユースホステル・奇跡の一本松

### 2. 被災前後の比較





H22.3.14 撮影

H23.3.29 撮影

# 4. 津波対策の基本的な考え方

#### 【頻度の高い津波への対策】

- 発生頻度は<mark>高い</mark>(数十年~百数 十年)
- 人命を守ることに加え、住民財産の保護、地域の経済活動の安定化などの観点から、比較的頻度の高い津波に対して津波対策施設を整備する。

#### 【最大クラスの津波への対策】

- 発生頻度は低い
- 施設整備に必要な費用や、海岸の環境、利用に及ぼす影響等の観点から、整備の対象とする津波高さを大幅に高くすることは<mark>非現</mark>実的。
- 人命を守ることを最優先とし、住民の避難を軸に土地利用、避難 施設、防災施設などを組み合わせ
- 堤防については、施設に過度に依存した防災対策には限界がある ことを認識しつつ、低頻度ではあるが大規模な津波に対しても粘 り強さを発揮する構造を検討

#### 【新しい発想による津波防災まちづくり】

- 地域ごとの特性を踏まえ、ハード・ソフトの施策を柔軟に組み合わせ、総動員させる「多重防御」の発想による津波防災・減災対策を実施
- 従来の堤防の「線」による防御から「面」の発想により、河川や道路、土地利用規制等を組み合わせたま ちづくりの中での津波防災・減災対策

### 5. 計画堤防高の設定

- 平成23年7月8日付け海岸関係省庁通知に基づき、以下の手順で計画堤防高を設定
- ① 過去に発生した津波の中から設計対象津波を選定
- ② せり上がりを考慮した津波の水位を算出し、設計津波の水位を算定
- ③ 設計津波水位に余裕高1.0mを加えた高さを新計画堤防高として設定
- ④ 但し、設定した計画堤防高が被災前に計画していた堤防高を下回る場合は、被災前計画高を新計画堤防高とする

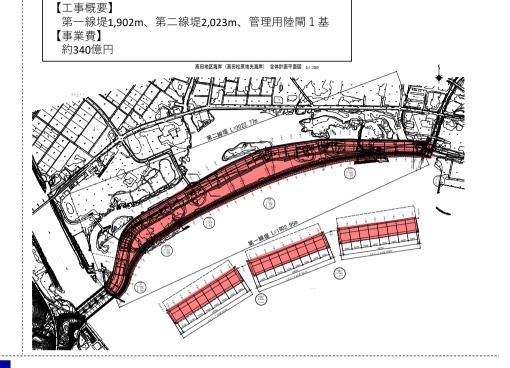
#### 【新計画堤防高】

- ▶ 上記による検討内容について、「岩手県津波防災技術専門委員会」において審議し、高田地区海岸の新計画堤防 高をT.P.+12.5mと設定。
- ▶ 津波対策施設は、まちづくりへの影響や最大クラスの津波による影響、経済性等を総合的に検討し、新計画堤防 高に合わせて防潮堤を嵩上げ整備する方針とした。

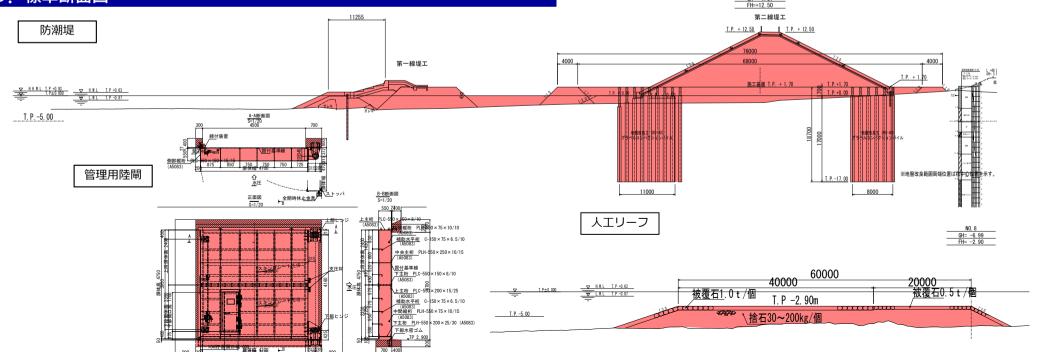
## 6. 陸前高田市まちづくり計画

#### 陸前高田市震災復興実施計画 主要事業箇所図 高田保育所再隸事業 コミュニティ施設整備事業 地域医療施設整備事業 県立高田高等学校を構促進事業 津波復興拠点整備事業(高田北地区(東区)) 本総合交流センター整備事業 営農拠点施設等整備事業 <sup>総総仏</sup> 置義拠原施数可強性 大規模工芸団地整備事業 お次の日 第200日 博物館・海と貝のミュージアム整備事業 (仮称)市民文化会館整備事業 TOTAL NEW PRESE コミュニティ施設整備事業 今學程實所医被事業 域子育て支援センター拠点施設再建事業 ● 「第1 災害に強い安全なまちづくり」関係 onnoon 訪測堤整備事業 ● 「第2 快適で魅力のあるまちづくり」関係 被災市街地復興土地区側整理事業 會 防災集団移転促進事業 被災土地利用高度化再總整備事業・追業業落防災機能強化事業 コミュニティ施設整備事業 無な野外活動センター整備促進事業 現立野外活動センター整備促進事業 高田松原津波復興祈念公園整護事業 ● 「第3 市民の暮らしが安定したまちづくり」関係 災害復興公常住宅等整備事業 ● 「第4 活力あふれるまちづくり」関係 ☆ 漁港施設機能強化事業 ● ( ) 「第6 協働で築くまちづくり」関係 出典) 陸前高田市HP-復興計画 - 「陸前高田市震災復興実施計画(平成31年3月策定)」資料編

## 7. 計画平面図







# 9. 着工から完成まで











